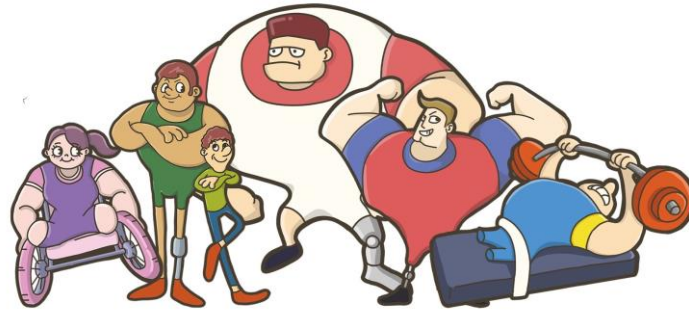


パリ目前！出場決定までの道のり（2024年版）



パラ・パワーリフティング

① 指定大会（＝パスウェイ大会）への出場

東京2020終了後から2024年まで、世界連盟指定の大会に出場することが必要。
パラリンピックへの道のり、最後の今年は、
2つのワールドカップに出場すること！

- 2021年 世界選手権（※新人ルールの適用アリ）
- 2022年 アジア-オセアニア選手権
- 2023年 世界選手権
- 2024年 2つのIPC公認国際大会

日本は下記2大会へ派遣予定

2月 ドバイワールドカップ

いま、ここ

6月 Tbilisi ワールドカップ（開催地がマンチェスターからジョージアのTbilisiに変更）

でも、これだけではまだ決まらない・・・▶▶▶ つづく

パリ目前！出場決定までの道のり（2024年版）



② パラリンピックランキング 8位以内 にランクイン

ただし・・・

✓ 各階級、1か国につき1名が出場できる

→ 同じ国が8位以内に複数ランクインしていても、出場できるのは1名

→ 繰り上がりでランキング8位以下の選手が出場できることもある

✓ 推薦枠（バイパルタイト）あり

→ ランキングでの直接選出枠から外れている選手を対象に・・・

✓ 世界連盟が直接選手を選考する

✓ 1階級につき1カ国、というルールが適用されない場合もある

パリ目前！出場決定までの道のり（2024年版）



③パラリンピックランキングの確定はいつ？

最後のパスイェイ大会となる

マンチェスターワールドカップ 終了後（2024年）6/19～6/24

まとめ

パリパラリンピック出場までには、毎年、出場しなければならない大会があった。

これらの大会には日本代表として選出される必要あり。

つまり、国内トップをキープし続けること。

国内トップを保ちながら、最終的にパラリンピックランキングで世界8位以内にランクインすることで、パラリンピック出場決定となる。

また、推薦枠が与えられることもある。